



2018年5月10日発行

公益財団法人仙台YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 村井伸夫
編集人 / 永沼真理

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



放課後デイサービス

放課後等デイサービスは、障がいのあるお子さんや発達に特性のあるお子さんを対象とし、放課後や長期休業中に利用いただける、児童福祉法に定められた福祉サービスです。

厚生労働省が定めた「放課後等デイサービスガイドライン」に沿って、自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を組み合わせて、ひとりひとりの個別支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成し、支援をおこなっています。

「YMCAみらい」は2013年に開所し、6年目を迎えました。主に小学生が対象で在籍数は36名になり、立町会館の1階で活動しています。

「YMCAきぼう」は2016年に開所し、3年目を迎えました。主に中学生・高校生が対象で在籍数は28名となりました。立町会館から歩いてすぐの桜ヶ岡ハイツ1階で活動しています。新年度になり新たにメンバーを迎え、安心できる居場所づくり、仲間づくりを共にこなしています。それぞれ室内で設定活動や個別の余暇を楽しんだり、天気の良い放課後は、西公園で合同の活動も行うこともあり、子どもたちの元気と笑顔があふれています。

「YMCAみらい」「YMCAきぼう」の願い

子どもたちの「希望」が 叶えられ、子どもたちの 「未来」につながる支援を

YMCAみらい・きぼうで過ごした子どもたちが、将来、周りからあたたかいサポートを受けながら就労し、休みの日も生き生きと暮らしていけるようになることが、「YMCAみらい」「YMCAきぼう」の願いです。

子どもたちの未来がより豊かな生活になるための支援、自立した日常生活に向けた支援を目指し、仲間とのコミュニケーション方法や生活自立に向けたライフスキルや社会のマナー・ルールを学べるよう日々の活動を考えています。



「豊かな生活」「自立した生活」 に必要なもの

YMCAで発達支援にかかわるスタッフとして大切にしていることがあります。

お子さんの「自己存在感」「自己決定」と、支援者の「共感的理解」を大切にし、ひとりひとりのよいところを伸ばし、ほめて認めることを日々のかかわりで意識しています。

「自己存在感」...お子さん一人ひとりが価値ある存在、認められる存在であると感じてほしい。それぞれ苦手なこと、うまくできないことや困難があっても、お子さんの持つ個性、純粋さ、優しさは、誰にも代えがたく大切に愛おしい存在です。まわりと比べて評価するのではなく、できていることに注目することで、安心して自分を出せる関係ができ、成功体験の中で自信や意欲は育ちます。

「自己決定」...自分で決めること、自分の気持ちを表現すること。やらされるのではなく、自分で取り組む時間はとても大切です。自分で選ぶ、決定することは責任も伴います。その大切さも伝えていきます。

「共感的理解」...自分の良さ、好きなこと、大切にしていることやこだわりを認めてもらう居場所を作ります。それを通して相手の良さも認め、高め合うことへつながります。

これからの支援

進級した継続メンバーが新メンバーにルールを教えている姿、メンバー同士でほめ合ったり認め合ったりする姿、「〇〇くんは〇年生になったからきっとできるよ」の声かけで頑張ってる姿を見て、積み重ねの大切さを感じています。

この春の福祉サービスに関する法改正により、障がい児者福祉・児童福祉について専門的な知識を持った職員を配置すること。ガイドラインに沿った事業の評価と改善が見える形で行うこと。など、更なる支援の質の向上が求められている中、お子さん、保護者の方の生活が「YMCAみらい」「YMCAきぼう」との出会いで、よりよくなっていくよう努めていきます。

4月の「世界自閉症啓発デー」「発達障害啓発週間」では、仙台城跡の伊達政宗像がブルーにライトアップされました。発達に特性があるお子さんへの理解がたくさんの人々に広がるようお願い、子どもたちの困り感をまわりの人に伝え、つながっていくことが私たちスタッフの使命だと思っています。(北風有記)



仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわがを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人の共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に広がります。

私たちは、人と人のかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

YMCAと私

西山児童館
ユースボランティア
リーダー
山口 亮



児童館でボランティアリーダーとしてYMCAにお世話になり7年が経ちます。今では複数の児童館と関わりを持たせていただき、数多くの子どもと接して楽しい経験や、時には複雑な経験をさせていただいております。

初めの頃は特定の子とばかり遊んでいましたが、少しずつ色々な子どもと関わるうちにこの子にはこんな良いところがある、こんな一面もあるのか、と気付くことが多くなっていきました。同時に自分にも子どもの変化に気付ける力が微力ながらついたと思います。

私は兄弟や環境に恵まれ、幼少期はたくさんの年上の方に関わりを持っていただけました。今は核家族化や近所付き合いの減少などで、身近にいる年上の人との繋がりが他人との関わりという機会が減っていると思います。その中で私は先生や児童館の職員という立場ではなくボランティアリーダーとして、子どもたちの身近な他人としてこれからも接していきたいと思っております。経験や思い出というのは時間が過ぎないとわかりません。児童館の子どもが将来大人になった時に、他人からの愛情や真心に気付く、また大人になった子どもたちが他人へ愛情や真心を持って接してくれる様な人間になれる様に、私は子どもたちに他人からの愛情や真心というものを心がけ、これからも接していきたいと思っております。

私自身、未熟者で子どもへも確固たる指導というものができませんが、児童館という場を与えていただけていることや、子どもたちと共に様々な経験をさせていただいている事、並びにいつも大変お世話になっているリーダーの方々と今までに関わりを持ってくれた全ての子どもたちとYMCAにこの場をかりて御礼を申し上げます。

南大野田保育園

「2018年度 南大野田スタート!!」



筑川沿いの桜が満開の4月初旬。28名の新入園児を迎え、新年度がスタートしました。楽しそうに笑う声と共に、大きな泣き声も響き渡る、4月の保育園ならではの光景が見られます。一人ひとりの不安や寂しい気持ちをまるごと受け止めることで、安心できる人、安心できる保育園となれるよう丁寧に関わっています。現在0歳児は、慣らし保育中のお子さんが多く、園内、園庭探検、近所の公園への散歩など、大好きなお家の人と一緒に保育園生活の雰囲気を感じているところです。

YMCAの保育園に入園することで神さまとの出会いがあり、いつも側にいてくださることを感じます。1年後には、年度初めとは違って安心感、楽しさ、おもしろさでいっぱい賑やかさが溢れていることでしょう。(木村由佳)



本間立夫さん恵美子さんご夫妻来仙

4月13日、東京 - フロストバレーYMCA パートナーシップキャンプの創始者で、ニューヨーク在住の本間ご夫妻が一時帰国に合わせ仙台YMCAを訪ねていただきました。本間さんは、ニューヨークYMCAのプログラムの企画開発や東京とフロストバレーYMCAのパートナーシップ設立と発展に貢献され、引退後も日米相互理解や日本文化の紹介に活躍されています。フロストバレーのキャンプは、広大な敷地、施設、環境教育理念やスタッフの質の高さやプログラム内容のどれをとっても充実しており、全米のモデルキャンプと言われてきました。

私は、20数年前、全国YMCAの幼児教育スタッフの一人としてフロストバレーのキャンプに参加する幸運に恵まれました。アルバムを持参し、楽しかったアクティビティや環境教育の学び、仲間との出会いを思い出し、フロストバレーにタイムスリップしたような懐かしい時間を過ごしました。本間ご夫妻と再会し、お歳を感じさせない若さとYMCAへの熱い思いをいただきました。今年は、YMCAキャンプ100年!!YMCAのキャンプを是非体験してみてください。素晴らしい出会いと思い出が沢山出来ること間違いなしです。

(南大野田保育園/布宮圭子)



本間氏(中央)奥様(右後)

「キリスト教理解」

第17回「世界の終わり」を感じた時に

日本基督教団 石巻栄光教会
牧師 川上直哉

1. イエス物語の背景

イエス物語の背景には、具体的な「悲劇的」状況がありました。東にパルティア帝国を見据える位置にあったイエスの国は、ローマ帝国の前線基地とされていました。帝国の論理に振り回されながら、それでも旧約聖書に謳われた「奴隷を解放する」という理念を目指し、イエスの母国は苦闘を続けました。つかの間、ローマとの関係を良好に保って繁栄を手に入れましたが、結局、この国は滅びます。ローマ帝国が、その跡形も残らないように、総力を挙げて破壊しつくし、イエスの同胞は世界中に散らされたのです。イエス物語は、そういう具体的な悲劇を背景にしてまとめられました。それで、イエス物語には、「世界の終わり」を具体的に感じた人々の息遣いが残されています。言い換えますと、イエス物語には「世界の終わり」を感じるような絶望的状况に対抗する答えが、隠されているのです。

2. 「世界の終わり」を感じた時に

2018年2月2日、ニューヨークの株式市場で記録的な値下げが起こり、世界中が緊張しました。私たちの世界はそのように、私たちのあざかり知らないところで何かが決定され、そして悲劇的な惨状に見舞われる、というものなのかもしれません。人類の社会は高度に精緻化した結果、その全体像をつかむことが難しいものとなっている。それで時々、私たちは絶望的な気持ちになります。世界はとっくの昔に根腐れしているのではないか。もう何をしても変わらないのではないか。「世界は終わっているのではないか」と、嫌になってくるかもしれません。そういう私たちが絶望に落ち込まないように、世界の全体性をつかみなおすための道具を、人類は用意しました。それが例えば宗教です。今日はそういう物語の一つ、ご紹介しようと思います。

3. イエスの教え

イエスは、何をしたのでしょうか。彼は木工職人として旅をして暮らしていたようです。そして彼は、どういうわけか、病気治しの技術を手に入れたようです。その技術は非常に高度なもので、多くの人を驚かせました。そして彼はなんと、その技術を無料で提供し始めます。当然、イエスの周りには貧しい人・差別された人が集まってきました。「治らない病気」の人は貧しくされ差別される。今も昔も変わらない現実が、イエスの周りにはっきりと浮かび上がっていました。

イエスにはお師匠がいました。「パプテスマのヨハネ」と呼ばれた人でした。この人は、日本で言えば天皇家に当たる血筋の人で、最高の教育を受け、屈強な体を持ち、そしてよい心を保っていました。彼は見事なパフォーマンスをして耳目を集め、人気者になりながら「世直し」を始めます。「最高の人」が「最高の出来映え」で起こした運動は、当然ながら世間を揺るがせ、多くの人々の期待を集めました。しかし、彼の運動はあっけなく終わります。時の権力者が軍隊(あるいは警察?)を送り、彼の身柄を拘束してしまったのです。

牢屋の中で、イエスの師匠は世界の終わりを感じたのだらうと思えます。この世界は「根腐れ」している。その現実と向き合いながら、彼は人を送って、イエスに問いただします。「お前に、期待したらよいのか。いったい何をしているのか。」世界の終わりを感じて苦しむ師匠に、イエスはこう言付けを送ります。「私がしていることをそのまま知ってもらいたい。私の周りでは、一人一人がそれぞれ、人間として大切にされている。」イエスは、この根腐れした世界の奥底で、旧約聖書の神様(奴隷を解放するチカラ)が、現実に働いていることを感じていたようです。そのチカラに励まされ、そのチカラの発露として、例えば病気治しも起こっている。同じように、YMCAの諸プログラムも稼働し、子どもたち・大人たちが生き生きと今日を暮らしている・・・イエスの教えは、そのように読まれ、私たちが悲劇的な現実の中で立ち上がらせるものとなっているのです。

第46回仙台YMCA国際・地域協力募金運動最終報告

達成金額: 1,959,521円
協力者人数: 1,369名

第46回仙台YMCA国際・地域協力募金運動は、2018年3月末日をもちまして終了いたしました。目標金額の200万円には達しなかったものの、1,959,521円の心温まる募金が寄せられました。この紙面をお借りして、ご支援・ご協力くださいました多くの皆様に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

約半年間の募金運動は、仙台YMCAの各施設で参加、利用されている皆様の協力と支援、各施設でのチャリティ募金活動、仙台YMCAを支えてくださっている多くの会員、教会をはじめとする関係団体等々からの個人募金で進められました。十勝じゃがいも・かぼちゃ販売、グッズ販売、街頭募金、などなど多くの方々からのご協力とご支援がありました。第46回の募金運動における協力者、支援者のご芳名は紙面上の事情から控えさせていただきます。抜粋ではありますが、募金運動と使途先の報告をさせていただきますのでご了承ください。なお、第47回仙台YMCA国際・地域協力募金は、2018年4月1日より改めて受付を始めております。変わらぬご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



【活動報告】

①十勝じゃがいも・かぼちゃ販売

十勝ワイズメンズクラブで行っている同販売に協力し、北海道YMCAが行っているLD児に対するプログラム、十勝の特別支援学校や障がい者施設への支援に協力すると共に仙台YMCAの国際・地域協力募金特別プログラムとして展開し、多くの方々に十勝のじゃがいもとかぼちゃをプレゼントしました。

販売数: 301箱
販売件数: 133件
募金額: 82,862円

②各施設・事業部の街頭募金

・Y-CAT街頭募金(Y-CATメンバーと職員により市内で実施)

募金額: 30,350円

・みらい・きぼう街頭募金(みらい・きぼうメンバーと職員により市内で実施)

募金額: 12,974円

・サッカークラブ街頭募金(サッカークラブメンバーと職員により市内で実施)

募金額: 103,060円

③クリスマス献金

各施設でのクリスマス礼拝献金、職員によるクリスマス献金

実施施設: 幼稚園、西中田保育園、南大野田保育園、加茂保育園、職員共済会

募金額: 310,137円

④ワイズメンズクラブによる募金

仙台、仙台青葉城、仙台広瀬川ワイズメンズクラブの皆さんの街頭募金協力と共に、各クラブのクリスマス献金を捧げていただきました。

募金額: 260,244円

⑤実行委員会主催街頭募金運動

実行委員会による街頭募金運動を行いました。幼稚園児と保護者、プログラム会員、役員、応援協力者、ボランティアリーダー、職員の多大な協力があり、国際・地域協力募金を一般市民の方々にアピールできました。

実施日: 11月23日(午後)
12月23日(午前・午後)
会場数: 全10か所
募金額: 303,956円

【支援先】

皆様からの募金は、以下の「国際協力」「地域協力」「子育て支援」に活用させていただきます。

①第32回タイ農村ワークキャンププロジェクト助成

仙台YMCAの青少年等の国際協力事業として実施された第32回タイ農村ワークキャンプで現地青少年との交流、YMCAパヤオセンターの設備修繕を行うプロジェクト費用への助成を継続し、参加したいと願う青少年の負担を軽減しています。

②日本YMCA国際協力募金への支援

日本YMCAの国際協力事業で推進している「自然災害や紛争や貧困の中で子どもたちが子どもらしく生きるために」「国内外の青年のリーダーシップ育成」「災害被災地の中長期支援」「平和を創り出す活動」をアフガニスタン、カンボジア、インドネシア、東ティモール、パレスチナのYMCAと協働するために支援を継続しています。

③子ども支援基金助成

さまざまな事由があってYMCAの諸活動に参加することができない子どもたちが、YMCAプログラムへ参加する機会を通して心身の健やかな成長を図ると共に将来の地域を支える一人となることを願い、その子どもたちを招待する基金(子ども支援基金: BAPY基金)への助成を継続しています。

④東日本大震災被災地支援

2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地及び被災者支援を行っている仙台YMCAボランティア支援センターの活動支援を継続しています。

⑤パヤオセンター(タイ)支援

パヤオセンターとは、子どもとその家族を人身売買および商業的性的搾取から守るための生活向上プログラムを行っているところです。現在とても困難な状況にありますので、今年度はいただいた募金の中から支援していきます。

あらどうして私がバザーの実行委員長に? これまで男性だったはずなのに、クラブの例会で指名されました。クラブ会員が皆協力して頂けるとの約束で引き受けました。委員長は初めてのことなので、皆様にはご迷惑をおかけすることと思いますが、経験豊富な委員の協力を受けて精一杯努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

仙台YMCAは、子ども・家族・地域社会を育み、共に支えあう社会作りを目指し、たくさんの方々のボランティアによって運営されています。その活動の資金づくりのためのバザーです。毎年テントの下の屋台販売でのお手伝い参加では4万円ほどが目標でした。その他、模擬店コーナー、焼きそばやフランクフルト、焼き鳥や金魚すくい、くじ引き等、様々なお店が並んで大きな声を上げて売ります。特に物品バザー会場へは朝早くから並んでたくさんの来場者に足を運んでいただいております。オープニングイベントも楽しみです。美味しい食べ物に舌鼓を打ち、大きな袋を両手に持ち、笑顔で元氣にお帰りになる。

今年もこんな温かい光景があふれる事を目標に取り組んでいきます。東日本大震災の影響でバザー提供者が少なくならないように全員でお声がけして盛り上げたいと考えます。昨年より少しでも多くの協賛、協力団体やボランティア協力者が得られますよう皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。今回の益金はYMCAの活動を通して子どもたちの育成支援に用いられます。全てのYMCA当事者関係者が集う一大イベントです。どうかバザー当日は晴天に恵まれますように。



仙台YMCA
バザー実行委員長
仙台広瀬川
ワイズメンズクラブ
松本京子

仙台YMCAバザー開催のお知らせ

毎年恒例の「仙台YMCAバザー」が6月10日(日)に開催されます。是非皆さま、お誘い合わせしてお越しください。バザーの物品の寄贈もお願いしております。皆さまのご家庭で眠っている物品がございましたらご寄贈くださいますようお願いいたします。ご寄贈いただく品物は未使用のものに限ります。古本や中古商品はご遠慮願います。

(担当/増山和憲)

日時 6月10日(日)
10:00~14:00

物品受付: 受付中~6月9日(土)

受付時間: 10:00~18:30

受付場所:

- ・仙台YMCA、幼稚園(222-7533)
- ・YMCA西中田保育園(306-0730)
- ・YMCA南大野田保育園(748-0130)
- ・YMCA加茂保育園(777-6776)
- ・YMCA子どもセンター(304-5763)
- ・仙台市旭ヶ丘児童館(718-6628)
- ・仙台市富沢児童館(743-8085)
- ・仙台市西山児童館(251-0556)
- ・富谷市富ヶ丘小学校児童クラブ(342-0852)
- ・富谷市あけの平小学校児童クラブ(341-4280)
- ・富谷市日吉台小学校児童クラブ(341-2232)
- ・富谷市日吉台小学校児童クラブ(341-2232)



仙台富沢教会

春ときめきアネモネコンサート(教会音楽)&ミニバザーのご案内

日時 5月27日(日)10:30~12:00(開場10:00)

この春もアネモネさんをゲストにお呼びして特別礼拝を行います。アネモネさんは、老人施設や病院等を訪問活動されている音楽ボランティアグループです。礼拝メッセージやときめくような音楽コンサートを通して、新たな息吹に触れてみませんか?

※美味しいお菓子と飲み物もご用意。ミニバザーも実施。どなたでも参加自由。お子様連れも大歓迎。参加費無料(礼拝でのご有志献金とミニバザーを除く)皆様のお越しを心よりお待ちしております。

※駐車場は台数に限りがありますので、必要の際はご相談ください。

会場・お問合せ先 仙台富沢キリスト教会

住所:仙台市太白区富沢南2-24-11(TEL:022-399-7157)

(富沢小学校・地下鉄車両基地の近く)

『育成会員募集』

ウェルネスクラブでは、2018年4月より、新たなプログラムとして「バレトン」「ボールエクササイズ」を実施しております。

バレトンは、スローテンポの音楽に合わせ、バレエ、ヨガ、エアロビクスの要素を取り入れた体幹運動です。

ボールエクササイズは、小さなバランスボールを用いて行う、こちらも体幹トレーニングです。激しい運動は苦手、体を動かすのは苦手けど少しでも体力をつけてみたいという方にうってつけのトレーニングです。ぜひ体験してみてください。その他にも、フリースイミング、レスンスイミング、健脳健骨運動、いきいき運動、ヨガ、ストレッチヨガ、ウォーターウォーキング、ウォーターエクササイズなども行ってあります。健康維持、体力向上、仲間作りのために、YMCAに足を運んでいただければと思っております。詳しくはYMCAまでお問い合わせください。お待ちしております。(斎藤 勉)

仙台YMCA大会のご案内

日程 6月30日(土)
14:00~17:00
場所 仙台YMCA立町会館

(仙台YMCA大会)

1. 会員総会
 - (1) 開会礼拝
 - (2) 2017年度事業及び収支決算報告の件
 - (3) 2018年度事業方針・収支予算の件
 - (4) 常議員選出の件
 - (5) 会員表彰
2. 会員研修会
 - (1) 講演会の予定
 - (2) 第32回タイ農村ワークキャンプ報告

維持会員(2018年3月30日~4月26日)

維持会費によるお支えに心より感謝いたします。

A会員/10,000円 B会員/20,000円
C会員/30,000円

継続A会員

野村 宏 油谷重雄 松田美彰 佐藤悦子

仙台YMCAではYMCAを支えていただける維持会員を随時募集しております。

《お問合せ》本部事務局

TEL/022-222-7634 FAX/022-222-2952

東日本大震災支援対策室活動 いちごワーク予定

2017年度のいちごワークは、全10回実施し、述べ91人の参加がありました。

2018年度もこれまでと同様、月1回のいちごワークを予定しています。4月は29日(日)に実施します。

それ以降予定されている日程は、

5月13日(日)・7月1日(日)です。

8月以降は決まり次第お知らせいたします。尚、4月29日(日)の活動内容は、仙台YMCA東日本大震災支援対策室のブログにて確認できますのでご覧ください。(黒田 敦)

FC南三陸スポーツ少年団招待 サッカーフェスティバル

FC南三陸スポーツ少年団の子どもたちをサッカーフェスティバルに招待いたします。昨年は日程の都合で実施できず残念でしたが、仙台の子どもたちも6月の交流を楽しみにしています。

(斎藤 勉)

日程

○6月23日(土) 交流会

○6月24日(日) サッカーフェスティバル

仙台YMCA生涯学習センター Education 英語・英会話・国際・ピアノ・油絵 Global Kids <<グローバルキッズ>> 参加者募集! 『地球市民』への第一歩

仙台YMCA生涯学習センターでは、英会話やピアノ教室、油絵教室など毎日様々なプログラムを行っています。一つだけ月一回活動するそれが...

『地球市民』への第一歩! Global Kids <<グローバルキッズ>>です。

このグローバルキッズでは、お互いに認め合い高めあうことを地球規模で考えていくことができるよう、プログラムを展開していきます。

様々な国の歴史や文化、人々との交流などを通して多くの気づきをもてるよう、全身と五感をフルに使って行うゲームやクイズ、ディスカッション。聴く力、話す力、コミュニケーションをとる能力を育みたいと考えます。プログラムを通して、共に生きる大切さを育み偏見や差別意識を持たない『地球市民』へと成長していくことを目指します。



<5月活動の予定>

活動日 5月26日(土)

時間 10:00-13:00

場所 仙台YMCA立町会館

持ち物 筆記用具、水筒(水や麦茶など)

費用 2,500円 定員 30名

10:00 受付・パスポートに出国スタンプ、グローバルキッズワールドに入国、今日の活動ミーティング

10:30 世界地図で見る世界(地形だけではなく様々な地図も使います)、どこの国のことでしょうかクイズ&ゲーム

12:00 機内食(軽食) 12:30 今日の振り返りタイム、ログブック作成

13:00 グローバルキッズワールド出国、パスポートに日本国入国スタンプ(解散)

※5月活動機内食(軽食)は、グローバルキッズ国でご用意いたします。

※8月は夏休みプログラムの『サマースクール』との合同プログラムとなります。